

避難情報の見直しについて

危機管理室

平成30年7月豪雨

- 西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、河川氾濫や土砂災害により、豪雨災害では平成最大の200名を超える死者、行方不明者が発生した。
- この豪雨では、気象庁が緊急会見を行うなど、厳重警戒の必要性についてマスメディア等を通じて事前に広く伝えられていた。
- また、多くの被災地では、自治体から避難勧告の発令など避難行動を促す情報が出されたが、自宅に留まる等により、多くの方が亡くなる結果となった。

国の議論(中央防災会議／内閣府)

平成30年7月豪雨の教訓

中央防災会議 防災対策実行会議「平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ」

- 様々な防災情報が発信されるが、多様かつ難解で、住民がそれを活用できない。
- 避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急))の危険度の高さ(順番)が、正しく認知されていない。

**住民の自発的な避難行動を支援するため
“わかりやすい防災情報の発信”が必要**

国の議論(中央防災会議／内閣府)

平成30年7月豪雨の教訓

中央防災会議 防災対策実行会議「平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ」

避難勧告等に関するガイドライン(H31.3 内閣府)の改定

- 住民がとるべき行動を5段階に分け、情報と行動の対応を明確化
- 様々な防災情報と警戒レベルの関係を明確化



避難のタイミングを明確化

警戒レベル5段階制の導入

これまでの発令

避難指示(緊急)

- 災害が発生している
- 若しくは、発生する恐れが極めて高い状況において発令

避難勧告

- 全員の避難に要する時間を考慮して発令

避難準備・高齢者等 避難開始

- 高齢者等の要配慮者の避難に要する時間を考慮して発令

警戒レベル導入後の発令

【警戒レベル5】 災害発生

既に災害が発生している状況。
命を守るための最善の行動をとる。

【警戒レベル4】 危険な場所から全員避難!!

速やかに避難先へ避難する。

公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難する。

【警戒レベル3】 危険な場所から高齢者等 避難!!

避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難する。
その他の人は、避難の準備を整える。

【警戒レベル2】 避難行動の確認

避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認する。

【警戒レベル1】 心構えを高める

災害への心構えを高める。

市町村が発令

気象庁が発表

大阪市から市民の皆さんへの呼びかけ

警戒レベル3

危険な場所から
高齢者等避難！
その他の方は避難準備

警戒レベル4

危険な場所から
全員避難

黄色信号「用意！」

赤信号「ドン！」

大阪市からの避難情報の伝達

〈現行の伝達〉

警戒レベル4の伝達文例

- 緊急放送、緊急放送、避難勧告発令
- こちらは、〇〇市です。
- 〇〇地区に〇〇川に関する避難勧告を発令しました。
- 〇〇川が氾濫する恐れのある水位に到達しました。
- 速やかに避難を開始してください。
- 避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の高いところに避難してください。

〈警戒レベル導入後の伝達〉

警戒レベル4の伝達文例

- 「緊急放送、緊急放送、**警戒レベル4、全員避難**」×2回
- こちらは、大阪市です。
- 〇〇川が**氾濫するおそれのある水位に到達**しました。
- **速やかに全員避難**してください。
- 指定された避難場所への避難が危険な場合は、**近くの安全な場所**や、**屋内の高いところ**に**避難**してください。
- 詳しくは、NHKデータ放送やおおさか防災ネットなどをご確認ください。

警戒レベルと求める行動を端的に伝える

災害が切迫していることを伝える

とるべき行動を伝える

警戒レベルの導入に関するチラシ

～大阪市からのお知らせです～
Ver.4

令和元年6月から、
水害時の避難情報の伝え方を変更しました。

逃げ遅れゼロへ!!

防災情報はいろいろあるけど
いつ避難すればいいの？

警戒レベル **4** で全員避難!!

【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします。



【警戒レベル5】(市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。また、必ず発令されるものではありません。

詳しく知りたい方は
大阪市HP⇒くらし⇒防災⇒トピックス「警戒レベルによる避難情報の発信をはじめます」
内閣府(防災担当)・消防庁の資料を一部加筆

このチラシに関するお問い合わせは、
大阪市危機管理室までTEL06-6208-7385

大阪市 警戒レベル 避難情報 検索
https://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishihsu/page/0000471539.html

～大阪市からのお知らせです(裏面)～
Ver.4

水害について、市町村が出す避難情報と
国や都道府県が出す防災気象情報が**5段階**に整理されました。
これを受けて、大阪市では、今後次のとおり避難情報を発令します。

| 警戒レベル | 避難行動等 | (防災気象情報) |
|-------|--|---|
| 5 | 既に災害が発生している状況。命を守るための最善の行動をとる。 | 【警戒レベル相当情報(例)】 国土交通省、気象庁、都道府県が発表 警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報等 |
| 4 | 危険な場所から全員避難!! 速やかに避難する。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難する。 | 警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報等 |
| 3 | 危険な場所から高齢者等避難! その他の人避難準備 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難する。その他の人は、避難の準備を整える。 | 警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 大雨・洪水警報等 |
| 2 | 避難行動の確認 避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認する。 | これらの情報は、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。 ※ただし、「警戒レベル相当情報」が発表されたとしても必ずしも同じタイミングで市町村から同じレベルの避難情報が発令されるとは限りません。避難行動をとる際は、市町村からの避難情報にご注意ください。 |
| 1 | 心構えを高める 災害への心構えを高める。 | |

※ 避難先は、公的な避難場所に限りません。近くの家族や親戚、知人宅への避難についても日頃から相談しておいてください。
大阪市からは、次のような内容で、避難行動を呼びかけます/

- 4 警戒レベル 伝達文例
- ◆「緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、全員避難。」×2回
 - ◆こちらは大阪市です。
 - ◆〇〇川が氾濫するおそれのある水位に到達しました。
 - ◆速やかに全員避難してください。
 - ◆指定された避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所や、屋内の高いところに避難してください。
 - ◆詳しくは、NHKデータ放送やおおさか防災ネットなどをご確認ください。